

事業番号	事業名	内容	対象外項目番号
	清掃総務運営事務事業		
1	虫窪スポーツ広場・西久保ゲート ボール場管理事業	両施設の維持管理	-
2	清掃総務運営事務事業	美化センター運営事務	②
3	美化センター維持管理事業	管理棟の維持管理及び付属施設の維持管理	-
4	一般廃棄物処理手数料賦課徴収事業	し尿処理手数料、ごみ処理手数料等の賦課徴収事務	-
5	ごみ収集運搬事業	可燃ごみ、資源ごみ等収集運搬、剪定枝収集運搬業務	-
	ごみ処理事業		
6	リサイクルセンター運営管理事業	リサイクルセンター運営管理事務	-
7	し尿収集運搬事業	汲み取りトイレ及び仮設トイレ等のし尿の収集運搬業務	-
8	し尿処理事業	し尿処理施設の維持管理	-
9	し尿処理施設維持整備事業	し尿処理施設の機能維持のための機器の補修整備及び定期点検	-

令和3年度事務事業一覧表

事業 番号	事業名	持続可能な開発目標 (SDGs)																
		G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G11	G12	G13	G14	G15	G16	G17
	清掃総務運営事務事業																	
1	虫窪スポーツ広場・西久保ゲート ボール場管理事業												○				○	
2	清掃総務運営事務事業												○				○	
3	美化センター維持管理事業												○				○	
4	一般廃棄物処理手数料賦課徴収事業												○				○	
5	ごみ収集運搬事業												○				○	
	ごみ処理事業																	
6	リサイクルセンター運営管理事業												○				○	
7	し尿収集運搬事業												○				○	
8	し尿処理事業												○				○	
9	し尿処理施設維持整備事業												○				○	

予算事業名	清掃総務運営事務事業				事業番号	04 - 15 - 01						
細分事業名	虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場管理事業				シート作成日	令和3年11月16日						
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	01	事業	02	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
産業環境部				美化センター				施設係				

事業計画 (Plan)	総合計画	P	柱	—			
			部門	—			
			大施策	—			
			中施策	—			
			施策目標	—			
	根拠法令・条例等			—			
	個別計画等			—			
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—	実施項目名	—
	目的 (何のために)			虫窪スポーツ広場及び西久保ゲートボール場の適正な維持管理を行う。			
	対象 (誰を・何を)			虫窪地区住民・西久保地区住民・町民スポーツ団体			
内容			ごみ焼却処理施設の建設、し尿旧投棄場跡地の地元還元施設として整備した両施設の管理運営を行う。				

事業実施 (Do)	執行体制		一部委託あり				
			単位	H30年度 (決算)	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (予算)
	直接事業費 (a)		千円	1,381	1,365	1,472	1,478
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金					
		起債					
		その他					
		一般財源		1,381	1,365	1,472	1,478
	職員人数 (概算職員数)		人	0.11	0.11	0.11	0.09
	人件費計 (b)		千円	443	477	486	466
総事業費 (a) + (b)		千円	1,824	1,842	1,958	1,944	
事業費内訳 (千円) R 03 年度		○虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場水道料 21千円 ○虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場草刈委託 780千円 ○用地借上料 677千円 計 1,478千円					

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			—				—	
	指標名		単位	項目	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	利用団体数 (虫窪及び西久保)	団体	—	11	11	11	11
	活動指標 (活動量)	利用日数 (虫窪及び西久保)	日	計画値	100	100	100	100
				実績値	144	138	—	—
	成果指標 (達成度等)	利用率 (利用日数/365)	%	目標値	27	27	27	27
				実績値	39	38	—	—
				達成率	146.1%	140.0%	—	—
	定性的成果		—					

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	② 廃止・休止による影響は小さいがある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	④ 成果を計ることはなじまない		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はあるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過(過去4年間)	虫塚スポーツ広場仮設トイレの更新を行った。(R2年度)			
課題(事務の効率化)	地元還元施設として維持管理していくべきではあるが、草刈り費用について、公園等との一元管理することにより経費削減を図ることを検討する必要がある。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	H30年度	維持	
		理由	引き続き事業の継続が必要であり、地元還元施設として維持管理していくべきである。							
	課題解決への視点	施設について地域住民との合意が必要。								
	着手する事項	R03年度	地元への要望確認、関係課との調整。							
		R04年度	地元への要望確認、関係課との調整。							
	R03年度改善事項	令和2年度に更新した虫塚スポーツ広場仮設トイレの清掃、維持管理等を行い、利用者に快適な利用環境を提供した。また、地元からの要望により、ゲートボール場の法面保護措置等を行った。								
	記入日									
	令和4年3月18日									

予算事業名	美化センター維持管理事業				事業番号	04 - 15 - 03					
細分事業名	—				シート作成日	令和3年11月16日					
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	01	事業	03	
	事業開始年度										—
事業終了予定年度										—	
部 等 名				課 等 名				係 名			
産業環境部				美化センター				施設係			

事業計画 (Plan)	総合計画	柱	—		
		P	部 門	—	
		—	大施策	—	
			中施策	—	
			施策目標	—	
	事業の概要	根拠法令・条例等	—		
	個別計画等	—			
	行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—
	目的 (何のために)	美化センター管理棟及びその付属施設の維持管理			
	対象 (誰を・何を)	し尿、ごみ及び動物等の処理を依頼する町民等			
内容	美化センター管理棟の維持管理及びその付属施設の保守点検、清掃等を実施する。				

事業実施 (Do)	執行体制		職員実施								
	事業費	直接事業費 (a)	千円	H30年度 (決算)	512	R01年度 (決算)	529	R02年度 (決算)	778	R03年度 (予算)	3,140
		財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金								
			起債								
			その他		168						
			一般財源		344	529	778	3,140			
		職員人数 (概算職員数)	人	0.50	0.50	0.30	0.31				
	人件費計 (b)	千円	2,407	2,604	1,504	1,503					
	総事業費 (a) + (b)	千円	2,919	3,133	2,282	4,643					
事業費内訳 (千円) R 03 年度	○需用費 153千円 ○通信運搬費・手数料 370千円 ○物品借上料 317千円 ○工事請負費 2,300千円 計3,140千円										
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値				
			—				—				
	指標名		単位	項目	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (予算)	R07年度 (目標)			
	対象指標 (対象者数等)	開庁日数	日	—	310	310	310	310			
	活動指標 (活動量)	事業費	千円	計画値	606	857	857	857			
				実績値	529	778	—	—			
成果指標 (達成度等)	床面積あたりの事業費 (事業費/447㎡)	円	目標値	1,631	1,631	1,631	1,631				
			実績値	1,356	1,740	—	—				
			達成率	83.1%	106.7%	—	—				
定性的成果	—										

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-① 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過 (過去4年間)	施設の適正な維持管理を図り、実施した。			
課題 (事務の効率化)	施設及び場内の樹木等の維持管理費がかかる。 し尿処理施設更新の延期に伴い、施設老朽化への対応が必要。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	H30年度	—	
		理由	引き続き事業の継続が必要であり、維持管理していくべきである。							
	課題解決への視点	適切な維持管理を図る。								
	着手する事項	R03年度	美化センター管理棟内、事務室内及びトイレの雨漏り修繕及び破損天井板の交換、塗装							
		R04年度	美化センター構内の樹木伐採(予定)							
	R03年度改善事項	美化センター管理棟内、事務室内及びトイレの雨漏り修繕のため、屋上防水工事を実施するとともに破損した天井板の交換、塗装を行った。								
	記入日									
	令和4年3月18日									

予算事業名	一般廃棄物処理手数料賦課徴収事業									事業番号	04 - 15 - 04	
細分事業名	—									シート作成日	令和3年11月16日	
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	01	事業	04	事業開始年度	—
												事業終了予定年度
部 等 名						課 等 名					係 名	
産業環境部						美化センター					施設係	

事業計画 (Plan)	総合計画	P	柱	—			
			部 門	—			
			大施策	—			
			中施策	—			
			施策目標	—			
	根拠法令・条例等			大磯町廃棄物の処理及び清掃に関する条例			
	個別計画等			—			
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—	実施項目名	—
	目的 (何のために)			町民生活の公衆衛生の向上			
	対 象 (誰を・何を)			し尿、ごみ及び動物等の処理を依頼する町民等			
内 容			し尿、ごみ及び動物の死体等の処理手数料の賦課徴収を行う。				

事業実施 (Do)	執行体制		職員実施					
			単位	H30年度 (決算)	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (予算)	
	直接事業費 (a)		千円	608	759	689	632	
	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金						
		起債						
		その他						
		一般財源		608	759	689	632	
	職員人数 (概算職員数)		人	0.66	0.76	0.67	0.67	
	人件費計 (b)		千円	2,034	2,769	2,263	2,320	
総事業費 (a) + (b)		千円	2,642	3,528	2,952	2,952		
事業費内訳 (千円) R 03 年度		○賦課徴収事務消耗品代 8千円 ○賦課徴収事務印刷製本代 430千円 ○賦課徴収事務手数料 194千円 計632千円						
本事業が属する総合計画の中施策の成果指標			指標名			目標値		
			—			—		
指標値	指標名		単位	項目	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	汲み取り賦課件数	件	—	210	210	210	210
	活動指標 (活動量)	汲み取り賦課件数	件	計画値	210	210	210	210
				実績値	210	200	—	—
	成果指標 (達成度等)	徴収率 (該当する現年度)	%	目標値	100	100	100	100
				実績値	100	100	—	—
達成率				100.0%	100.0%	—	—	
定性的成果		—						

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-① 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過 (過去4年間)	美化センター各種手数料滞納整理実施計画に基づき定期的に訪問徴収を行った。 令和元年度の現況調査により、し尿汲み取り台帳の更新を行った。 手数料改訂に伴う対応を行った。			
課題 (事務の効率化)	町外への転出者等に対する対応の検討が必要である。 未納者への訪問徴収。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	H30年度	維持	
		理由	引き続き事業の継続が必要であり、適正に賦課徴収を行うべきである。							
	課題解決への視点	情報の収集を適正に行い、迅速に対応できるような体制を整える。								
	着手する事項	R03年度	美化センター各種手数料滞納整理実施計画に基づき、訪問徴収等を実施する。							
		R04年度	美化センター各種手数料滞納整理実施計画に基づき、訪問徴収等を実施する。							
	R03年度改善事項	美化センター各種手数料滞納整理実施計画に基づき、訪問徴収等を実施した。								
	記入日									
	令和4年3月18日									

予算事業名	ごみ収集運搬事業				事業番号	04 - 15 - 05					
細分事業名	—				シート作成日	令和3年11月16日					
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	02	事業	01	
	事業開始年度 昭和53年度（不燃ごみ）昭和60年度（可燃ごみ）										
事業終了予定年度 —											
部等名				課等名				係名			
産業環境部				美化センター				施設係			

事業計画 (Plan)	総合計画	P	柱	—			
			部門	—			
			大施策	—			
			中施策	—			
			施策目標	—			
	事業の概要		根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
			個別計画等	大磯町分別収集計画・大磯町一般廃棄物処理基本計画			
			行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—
			目的 (何のために)	排出された廃棄物を適正に収集することにより、衛生的な生活環境の保全を図る。			
			対象 (誰を・何を)	全町民			
		内容	一般家庭から排出される可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ等を委託により適正かつ効率的に収集する。				

事業実施 (Do)	執行体制		全部委託								
	事業費	直接事業費 (a)	千円	H30年度 (決算)	184,194	R01年度 (決算)	189,503	R02年度 (決算)	193,367	R03年度 (予算)	194,000
		財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金								
			起債								
			その他								
	一般財源		184,194	189,503	193,367	194,000					
	職員人数 (概算職員数)		人	0.70	0.70	1.05	1.50				
	人件費計 (b)		千円	3,805	4,123	6,202	8,722				
	総事業費 (a) + (b)		千円	187,999	193,626	199,569	202,722				
事業費内訳 (千円) R 03 年度		○ごみ収集運搬委託料 194,000千円									

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			—				—	
	指標名		単位	項目	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	人口 (各年7/1時点)	人	—	31,370	31,150	31,043	30,484
	活動指標 (活動量)	委託収集量	t	計画値	8,004	8,000	8,000	8,000
				実績値	8,320	8,412	—	—
	成果指標 (達成度等)	1t当たりの収集経費 (直接事業費/委託収集量)	円	目標値	23,700	23,800	23,800	23,800
				実績値	22,800	23,000	—	—
達成率				103.9%	103.5%	—	—	
定性的成果		—						

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	① ある		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-① 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過(過去4年間)	収集業者と毎月定例会を行い、町民サービス向上に向け、意見交換等を行っている。			
課題(事務の効率化)	平成30年度の大磯町リサイクルセンター稼働後、可燃ごみ、ペットボトル、不燃ごみが大磯町美化センターへ搬入となっている。効率的な収集体制の見直し、また、家庭系ごみの戸別収集・有料化などの収集方法の検討が必要となる。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	H30年度	維持	
		理由	引き続き事業の継続が必要であり、町内の衛生的な生活環境の保全を図るべきである。							
	課題解決への視点	現況の収集体制の把握とごみの戸別収集、有料化など収集方法について、町民の意見も考慮した見直しをする。								
	着手する事項	R03年度	効率的な収集運搬体制の維持を図るとともに、令和2年度に行った「家庭ごみの収集方法等に関するアンケート」結果を基に家庭系ごみの戸別収集や有料化の検討などごみ収集方法の見直し検討を行う。							
		R04年度	引き続き、効率的な収集運搬体制の維持を図るとともに、折畳み式集積ボックスの活用を勧める。							
	R03年度改善事項	効率的な収集運搬体制の維持を図るとともに、令和2年度に行った「家庭ごみの収集方法等に関するアンケート」結果を基に家庭系ごみの戸別収集や有料化の検討などごみ収集方法の見直し検討を行った。また、災害時におけるごみ収集運搬の協定案について、関係機関と調整を図った。								
	記入日									
	令和4年3月18日									

予算事業名	ごみ処理事業				事業番号	04 - 15 - 06					
細分事業名	リサイクルセンター運営管理事業				シート作成日	令和3年11月16日					
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	02	事業	05	
	事業開始年度										平成30年度
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
産業環境部				美化センター				施設係			

事業計画 (Plan)	総合計画	P 62	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり							
			部門	18 廃棄物処理							
			大施策	A 廃棄物処理の推進							
			中施策	(3) ごみ処理広域化の推進							
			施策目標	ごみ処理広域化実施計画に基づき、一般廃棄物処理施設の整備及び円滑な運営を行います。							
	根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律								
	個別計画等		大磯町分別収集計画・大磯町一般廃棄物処理基本計画、平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画								
	行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—			実施項目名	—			
	目的 (何のために)		平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化により、大磯町と二宮町のごみの中間処理や選別、保管など、リサイクルセンターの適切な運営を行う。								
	対象 (誰を・何を)		全町民								
内容		リサイクルセンターの運営、管理 大磯町のごみを広域処理施設や民間処理業者へ搬出するために選別・保管を行う。大磯町及び二宮町の容器包装プラスチック、ペットボトルの中間処理を行い、資源化に取り組む。									

事業実施 (Do)	執行体制		全部委託				
			単位	H30年度 (決算)	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (予算)
	直接事業費 (a)		千円	151,313	151,643	152,790	151,819
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金					
		起債					
		その他					
		一般財源		151,313	151,643	152,790	151,819
	職員人数 (概算職員数)		人	1.66	1.66	1.71	1.24
	人件費計 (b)		千円	3,805	9,777	10,101	6,894
総事業費 (a) + (b)		千円	155,118	161,420	162,891	158,713	
事業費内訳 (千円) R 03 年度		○運営委託料 151,387千円 ○再商品化委託料 432千円					

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			資源化率				31.8%以下	
	指標名		単位	項目	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	容器包装プラスチック及びペットボトルの大磯町・二宮町の排出量	t	—	1,042	1,071	1,160	1,146
	活動指標 (活動量)	リサイクルセンター稼働日数 (プラ・ペット選別作業日)	日	計画値	247	261	260	244
				実績値	243	246	—	—
	成果指標 (達成度等)	分別基準適合物引渡し実績	t	目標値	767	760	870	860
				実績値	768	835	—	—
				達成率	100.1%	109.9%	—	—
	定性的成果		—					

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	① ある		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-① 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過(過去4年間)	運営事業者と毎月定例会を行い、町民サービス向上に向け、意見交換等を行っている。			
課題(事務の効率化)	平成30年度リサイクルセンター稼働後、可燃ごみ、ペットボトル、不燃ごみが大磯町美化センターへ搬入となっている。更に資源化の推進、効率的な運搬を図る。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	H30年度	維持
		理由	引き続き事業の継続が必要であり、リサイクルセンターの運営・管理を通して、更なる資源化の推進、効率的な運搬を図る。						
	課題解決への視点	大磯町のごみを広域処理施設や民間処理業者へ搬出するために選別・保管を行う。大磯町及び二宮町の容器包装プラスチック、ペットボトルの中間処理を行い、資源化に取り組む。							
	着手する事項	R03年度	搬入された廃棄物の適切な処理及び町外処理施設への安全な運搬を行い、施設の効率的な稼働を行う。						
		R04年度	搬入された廃棄物の適切な処理及び町外処理施設への安全な運搬を行い、施設の効率的な稼働を行う。						
	R03年度改善事項	搬入された廃棄物の適切な処理及び町外処理施設への安全な運搬を行い、施設の効率的な稼働を行った。							
	記入日	令和2年度まで外部委託により実施していたモニタリング調査を職員が実施した。							
	令和4年3月18日								

予算事業名	し尿収集運搬事業							事業番号	04 - 15 - 07		
細分事業名	—							シート作成日	令和3年11月16日		
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	03	事業	07	
	事業開始年度										—
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
産業環境部				美化センター				施設係			

事業計画 (Plan)	総合計画	P	柱	—								
			部門	—								
			大施策	—								
			中施策	—								
			施策目標	—								
	事業の概要	根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律								
		個別計画等		—								
		行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—				実施項目名	—		
		目的 (何のために)		し尿を適正に収集することにより、公衆衛生の向上を図る。								
		対象 (誰を・何を)		くみ取り式便所の町民、事業者等								
内容		一般家庭及び事業者から排出されるし尿を委託により適正かつ効率的に収集する。										

事業実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
			単位	H30年度 (決算)	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (予算)	
	直接事業費 (a)		千円	41,777	41,830	42,920	42,936	
	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金						
		起債						
		その他		2,210	2,250	2,053	2,414	
	一般財源			39,567	39,580	40,867	40,522	
	職員人数 (概算職員数)		人	0.55	0.65	0.65	0.37	
	人件費計 (b)		千円	2,369	3,146	3,146	1,857	
総事業費 (a) + (b)		千円	44,146	44,976	46,066	44,793		
事業費内訳 (千円) R 03 年度		○し尿収集運搬委託料 42,936千円						
本事業が属する総合計画の中施策の成果指標			指標名			目標値		
			—			—		
指標値	指標名		単位	項目	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	汲み取り世帯数・事業者数	世帯	—	175	159	146	110
	活動指標 (活動量)	し尿収集量	kℓ	計画値	430	365	329	219
				実績値	396	359	—	—
	成果指標 (達成度等)	1kℓ当たりの処理経費 (直接事業費/し尿収集量)	円	目標値	97,326	114,658	130,505	100,000
実績値				108,384	119,554	—	—	
達成率				89.8%	95.9%	—	—	
定性的成果		—						

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	① ある		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-① 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過(過去4年間)	—			
課題(事務の効率化)	公共下水道整備の推進に伴い、対象世帯が減少傾向にあり、収集量は減少傾向にあるが、必要不可欠な事業のため、安全で効率の良い事業運営が必要。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	H30年度	維持	
		理由	引き続き事業の継続が必要であり、町内の衛生的な生活環境の保全を図るべきである。							
	課題解決への視点	公共下水道整備状況を注視し、収集事業者の視点も考慮し対応すべきである。								
	着手する事項	R03年度	—							
		R04年度	—							
	R03年度改善事項	—								
	記入日	—								
	令和4年3月18日	—								

予算事業名	し尿処理事業							事業番号	04 - 15 - 08		
細分事業名	—							シート作成日	令和3年11月16日		
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	03	事業	02	
	事業開始年度										—
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
産業環境部				美化センター				施設係			

事業計画 (Plan)	総合計画	P 62	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり							
			部門	18 廃棄物処理							
			大施策	A 廃棄物処理の推進							
			中施策	(4) し尿処理体制の推進							
			施策目標	既存し尿処理施設の適正な維持管理を行うとともに、新たな施設整備を推進します。							
	事業の概要			根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
				個別計画等	大磯町一般廃棄物処理基本計画、平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画						
				行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—		実施項目名	—		
				目的 (何のために)	し尿及び浄化槽汚泥を適正に処理することにより、公衆衛生の向上を図る。						
				対象 (誰を・何を)	し尿及び浄化槽世帯、事務所						
			内容	町内より収集されたし尿及び浄化槽汚泥を、し尿処理施設において適正に中間処理を行うとともに、施設の運転及び維持管理を実施する。また、中間処理により発生した汚泥等については、平塚市ごみ焼却場で処理する。							

事業実施 (Do)	執行体制		全部委託					
			単位	H30年度 (決算)	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (予算)	
	直接事業費 (a)		千円	58,546	58,250	60,655	62,415	
	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金				562		
		起債						
		その他		39,353	33,857	43,125	39,562	
	一般財源			19,193	24,393	16,968	22,853	
	職員人数 (概算職員数)		人	0.20	0.45	0.45	0.19	
	人件費計 (b)		千円	932	2,480	2,495	1,089	
総事業費 (a) + (b)		千円	59,478	60,730	63,150	63,504		
事業費内訳 (千円) R 03 年度		消耗品 10,672千円、光熱水費 20,940千円、修繕料 1,000千円、手数料 2,500千円、委託料 27,004千円、使用料及び賃借料 219千円、原材料費 80千円						
本事業が属する総合計画の中施策の成果指標			指標名			目標値		
			処理水の水質状況			施設設定値範囲内		
指標名			単位	項目	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (予算)	R07年度 (目標)
対象指標 (対象者数等)	し尿及び浄化槽人口	人	—	11,950	11,900	10,409	8,814	
活動指標 (活動量)	し尿及び浄化槽汚泥量	kg	計画値	7,400	7,400	5,585	4,526	
			実績値	6,591	6,718	—	—	
成果指標 (達成度等)	1t当たりの処理経費 (直接事業費/し尿及び浄化槽汚泥量)	円	目標値	8,322	9,063	11,175	9,000	
			実績値	9,204	9,029	—	—	
			達成率	90.4%	100.4%	—	—	
定性的成果			—					

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	① ある		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過(過去4年間)	町現業職員の減により、し尿処理施設の運転管理を全面委託とした。			
課題(事務の効率化)	施設の老朽化が進んでいる中、ごみ処理広域化で平塚市のし尿・浄化槽汚泥の受入れを行っており、施設更新時期の延期に伴い計画的な維持整備計画を検討する必要がある。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	H30年度	維持	
		理由	引き続き事業の継続が必要であり、し尿等を適正に処理すべきである。							
	課題解決への視点	新し尿処理施設の整備時期の遅れに伴い、今後の計画事項の見直し及び整理を行い、対処していくことが必要である。								
	着手する事項	R03年度	既存施設の適正管理や設備等について、平塚市との1市1町のし尿処理施設規模や公共下水道の進捗を踏まえ、引き続き検討・調整を行う。							
		R04年度	既存施設の適正管理や設備等について、平塚市との1市1町のし尿処理施設規模や公共下水道の進捗を踏まえ、引き続き検討・調整を行う。令和3年度に実施した汚泥再生処理センター建設候補地でのボーリング調査にて埋設廃棄物が確認されたことから、美化センター敷地内の地歴調査等を行う。							
	R03度改善事項	施設の適正管理や設備等について、平塚市との1市1町のし尿処理施設規模や公共下水道の進捗を踏まえ、引き続き検討・調整を行った。								
	記入日	令和4年3月18日								

予算事業名	し尿処理施設維持整備事業				事業番号	04 - 15 - 09						
細分事業名	—				シート作成日	令和3年11月16日						
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	03	事業	05	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
産業環境部				美化センター				施設係				

事業計画 (Plan)	総合計画	P 62	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり			
			部門	18 廃棄物処理			
			大施策	A 廃棄物処理の推進			
			中施策	(4) し尿処理体制の推進			
			施策目標	既存施設の適正管理			
	事業の概要		根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
			個別計画等	大磯町一般廃棄物処理基本計画、平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画			
			行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—
			目的 (何のために)	し尿処理施設の機能維持のため。			
			対象 (誰を・何を)	し尿処理施設			
		内容	供用開始 (昭和53年竣工) から40年以上経過しているし尿処理施設の機能維持のため、機器整備及び補修等を実施する。				

事業実施 (Do)	事業費	執行体制		全部委託				
				単位	H30年度 (決算)	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (予算)
		直接事業費 (a)		千円	39,204	29,920	38,445	38,000
		財源内訳	国庫支出金	千円				
			県支出金		9,816	8,074	10,009	12,250
			起債					
			その他		19,571	12,500	14,386	18,563
		一般財源		9,817	9,346	14,050	7,187	
		職員人数 (概算職員数)		人	0.20	0.65	0.75	0.81
		人件費計 (b)		千円	1,087	3,829	4,430	4,781
総事業費 (a) + (b)		千円	40,291	33,749	42,875	42,781		
事業費内訳 (千円) R 03 年度		○工事請負費 38,000千円						

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			処理水の水質状況				施設設定値範囲内	
	指標名		単位	項目	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	し尿及び浄化槽人口	人	—	11,950	11,900	10,409	8,814
	活動指標 (活動量)	し尿及び浄化槽汚泥量	kℓ	計画値	7,400	7,400	7,400	4,526
				実績値	6,590	6,718	—	—
	成果指標 (達成度等)	1t当たりの整備経費 (直接事業費/し尿及び浄化槽汚泥量)	円	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000
				実績値	4,540	5,723	—	—
達成率				132.2%	104.8%	—	—	
定性的成果								

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はあるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過(過去4年間)	し尿処理施設更新の検討を行うとともに、現有施設の維持整備項目について、運転管理業者や現業職員と打合せを行い、整備項目及びスケジュール精査を行った。			
課題(事務の効率化)	施設の老朽化が進んでいる中、ごみ処理広域化で平塚市のし尿・浄化槽汚泥の受入れを行っており、設備を適正に維持管理するためには、し尿処理施設更新事業のスケジュールを考慮しながら整備計画を見直し、計画的に整備していく必要がある。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	H30年度	維持	
		理由	引き続き事業の継続が必要であり、し尿処理施設の維持整備を適正に行うべきである。							
	課題解決への視点	し尿処理施設更新事業等、今後の計画事項の整理を行い、対処していく必要がある。								
	着手する事項	R03年度	既存施設の適正管理や設備等について、し尿処理施設更新事業の進捗を踏まえ、引き続き整備計画の検討及び調整を行う。							
		R04年度	既存施設の適正管理や設備等について、し尿処理施設更新事業の進捗を踏まえ、引き続き整備計画の検討及び調整を行う。							
	R03年度改善事項	既存施設の適正管理や設備等について、維持整備工事を実施するとともに、し尿処理施設更新事業の進捗を踏まえ、引き続き整備計画の検討及び調整を行った。								
記入日	令和4年3月18日									